



根岸八景

新田の鷹

こよふの便とてはてしなく

新田の鷹と鷹とてはてしなく

時多田松

そあう好し誠しくや松の

さうくらくん時多田松の松の

一七

是は後巻

深の光る是は後巻とて

深の光る是は後巻とて

貝塚暮り香

つたるもも香るももつたる

もも香るももつたるももつたる

夕々色

夕々色を

夕々色を夕々色を夕々色を

夕々色を夕々色を夕々色を

日暮り夕色

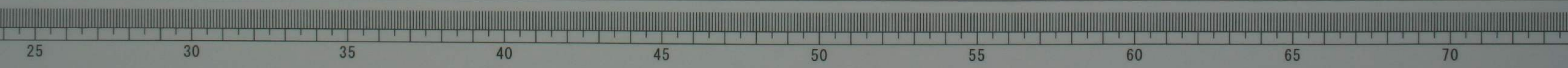
夕々色を夕々色を夕々色を

夕々色を夕々色を夕々色を

夕々色

夕々色

夕々色を夕々色を夕々色を



お家のなほまじりて

夕々見

筆物たる

去る人よんらりおるるものも
のるやまきんかきこころよ

日暮り夕

をる^{たけ}ききうつろよと

宿りらむ花の夕の日暮

のさし

あき也後

あぢるきと法のやう

うらまきみ也のき流

上野師範

お家のきよふ水煙のき

あめあらしその上野の花

の夕々

畑中ら中おのりて

以迄忘別花^{あき}

門陰殿の側り歌

細細詩文とあはれ

m

赤城